

この冬、森のストーブでぬくもりませんか？

私たちの地球にとって大切な森や環境を守るために、木質バイオマスを用いた再生可能なエネルギーの利用が、今、注目されています。「木質ペレット」もその一つです。化石燃料（石油や石炭）の代わりに、木質ペレットを燃料とするストーブやボイラーが各地で次々と導入されています。

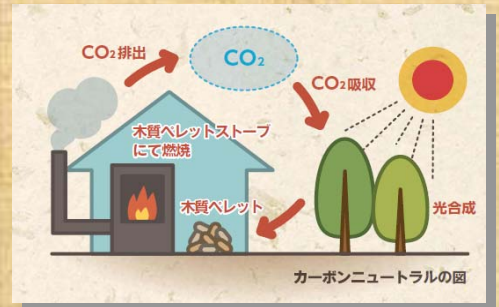
炎のゆらぎは、人の心も体も癒します！



◆なぜ、今、ペレットストーブか？◆

■環境にやさしい、カーボンニュートラルな燃料

木を燃やしても二酸化炭素は出ます。しかし、それは木が育つ間に大気中の二酸化炭素を吸収し固定した物です。木に蓄積した以上の二酸化炭素を排出することはありません。そして排出された二酸化炭素は、手入れをし植林された苗木等の植物が吸収して育っていきます。だから二酸化炭素が増えることはないのです。



◆ペレットストーブの基本と特長◆

■ペレット燃料って？

森林の手入れをした時に出る間伐材や製材端材等の木片を粉砕し直径6~8mm程の円柱状に圧縮成型したものです。木材の成分(リグニン等)で固まっていますので、とてもクリーンで環境にやさしいエネルギーです。ペレットには大きく分けて「全木」、「ホホワイト」、「パーク」の3種類があります。



■一冬の使用量は？

過去の実績では、一般家庭で一冬に1.5t~2t位のようなようです。ペレット2kgで灯油1ℓ相当になり、ドラム缶に直すと約2.4本分の化石燃料の削減になります。

■灰処理は？

ペレット燃料は木材で出来ていますので、燃焼後に灰がどうしても出ますが、日々の手入れは火格子等の灰を小ぼうきで灰受けに落とす位で済みます。灰捨ては数日に一回くらいで良いでしょう。また燃やした後の灰は1%程しか出ません。良質の土壌改良剤として大地に還元することができます。

■着火は？

着火はヒーターで着火します。ペレットストーブの多くは電気を使用していますので、ヒーターを用いての着火がほとんどです。2~3分で着火します。

■操作性は？

ペレットストーブの多くは電気を使用しています。スイッチ操作で着火・消化を行い、燃料自動送りで火力調整も3段階でできます(但し、火力の変化には少し時間がかかります)。お勧めする機種はFF型で、加熱防止装置及び震感センサー付です。

■煙突は？

ペレットストーブは着火時には煙が出ます。着火してしまえば完全燃焼して煙はほとんど見えませんが、排気は出ているので煙突無しという訳にはいきません。しかし、薪ストーブほどの立派な煙突はいりません。2m位の立上げで良いでしょう。

■魅力は？

なんといっても魅力は扉越しに見える炎です。手軽な操作で癒し効果のある炎が楽しめます。遠赤外線効果もあり、体の中から暖まる事ができます。また、ペレット燃料は木ですので、大きな害はありません。こぼしても汚れる心配もありません。



■留意点は？

ペレットストーブは着火・消火に少し時間がかかります。頻繁に点けたり、消したりは不得意なタイプです。ペレットストーブは木を燃やしますので、ススや灰がでます。機器には年に1回のメンテナンス費用が別途必要となります。

販売代理店

株式会社 竜善舎

〒940-2117 長岡市石動南町 13-3
TEL:0258(86)8020 FAX:0258(86)8025
E-mail:r.hiraishi@ryuzensha.com

地球環境の未来を考える



ペレットストーブ燃料についてのデータ

① 熱量の比率

灯油 1kg に対して ペレット 2kg 薪 4kg

② 使用時間 ペレット 1時間焚いてして約 1kg 使用

1kg あたり約 60 円

仮に・・・

I、共働きの家庭

朝 2 時間、夜 6 時間ペレットを焚いたとして

1 日 8 時間(8kg)×60 円=480 円

480 円×26 日=12,480 円

※お休み 4 日間家に居て 15 時間焚いたとして

1 日 15 時間(15kg)×60 円=900 円

900 円×4 日=3,600 円

1 ヶ月の合計 12,480 円+3,600 円=16,080 円 (概ねの計算)

※燃料種類によって異なります。

II、フルに家に居て焚き続けた場合

1 日 15 時間 (15kg) ×60 円=900 円

900 円×30 日=27,000 円 (1 ヶ月)

※フルに焚き続ける事はない。

◎上記は基本データです。家の構造や広さによって異なります